

岩手県感染症週報

平成18年第25週（6月19日～6月25日）

岩手県結核 感染症情報センター

第25週の概要

1類感染症 } 患者発生 の報告はありま
2類感染症 } せんでした。

3類感染症
・腸管出血性大腸菌感染症（O157）の報告が花巻地区より1例ありました。

5類感染症（定点把握対象疾患）

- ・水痘（みずぼうそう）は、二戸地区で患者数が多い状態が続き、5週連続で警報値（定点あたり患者数7人）を超えています。患者は1歳から5歳の年齢層に多くなっています。本疾患の予防には、任意接種ですがワクチンが有効です。
- ・インフルエンザは、久慈地区で依然として患者数が多い状態が続き、注意報値（定点あたり患者数10人）を再び超えました。
- ・ヘルパンギーナは、盛岡および花巻地区で患者報告が増加し、夏に向けて今シーズンの流行が始まったものと思われます。感染予防には十分な手洗いが重要です。
- ・一関地区で、弁当を原因とする黄色ブドウ球菌による食中毒が発生しました。これから細菌性食中毒が多発する季節となりますが、食品を取り扱う際には、「清潔」（菌をつけない）、「迅速または冷却」（菌を増やさない）、「加熱と殺菌」（菌を消滅させる）の三原則を守り、食中毒予防を心がけましょう。

4類感染症

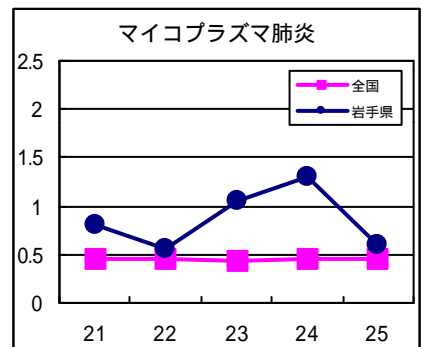
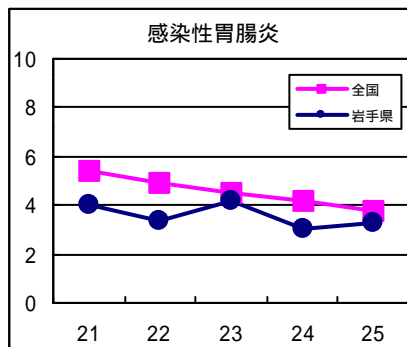
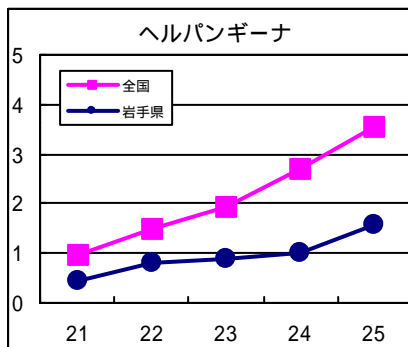
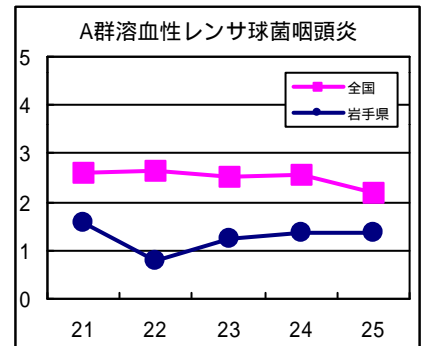
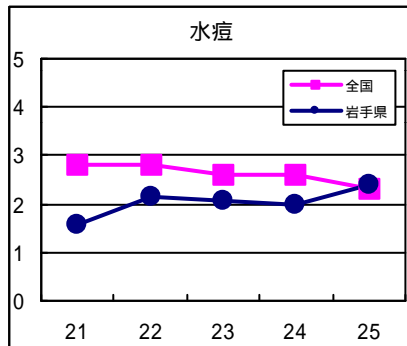
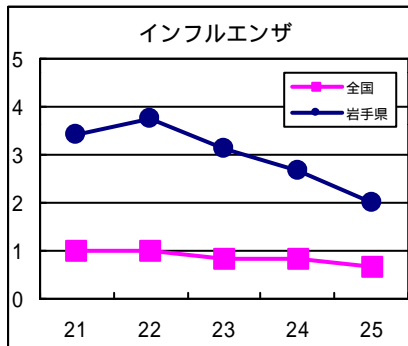
・オウム病の報告が1例ありました。

5類感染症（全数把握対象疾患）

・バンコマイシン耐性腸球菌感染症の報告が1例ありました（5月に診断）。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		21	22	23	24	25		
インフルエンザ	岩手県	3.4	3.73	3.11	2.67	2	↓	
	全国	1	0.99	0.83	0.82	0.65		
RSウイルス感染症	岩手県	0	0.03	0.05	0.05	0.05	→	
	全国	0.04	0.03	0.04	0.03	0.03		
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.18	0.1	0.1	0.26	↑	
	全国	1.07	1.25	1.3	1.32	1.36		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.59	0.79	1.23	1.38	1.38	→	
	全国	2.61	2.63	2.51	2.56	2.21		
感染性胃腸炎	岩手県	4	3.38	4.21	3	3.28	→	
	全国	5.43	4.92	4.53	4.16	3.74		
水痘	岩手県	1.56	2.15	2.08	1.97	2.38	↑	
	全国	2.81	2.79	2.59	2.59	2.31		
手足口病	岩手県	0.15	0.08	0.08	0.31	0.13	→	
	全国	0.51	0.66	0.75	0.9	1.16		
伝染性紅斑	岩手県	0.21	0.1	0.08	0.23	0.13	→	
	全国	0.62	0.72	0.56	0.7	0.72		
突発性発疹	岩手県	0.59	0.38	0.28	0.33	0.38	→	
	全国	0.7	0.7	0.67	0.71	0.76		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.46	0.82	0.87	1	1.56	↑	
	全国	0.96	1.48	1.95	2.69	3.56		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.82	0.74	1.33	0.59	1.41	↑	
	全国	1.42	1.77	1.76	1.55	1.74		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.03	0.04	0.04		
流行性角結膜炎	岩手県	0.75	1.83	1.83	0.75	1.5	↑	
	全国	1.08	1.29	1.21	1.07	1.23		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.06	0.06	0.05	0.09		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.8	0.55	1.05	1.3	0.6	↓	
	全国	0.45	0.45	0.43	0.46	0.46		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ↓ : 患者が発生しています
- ↑ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

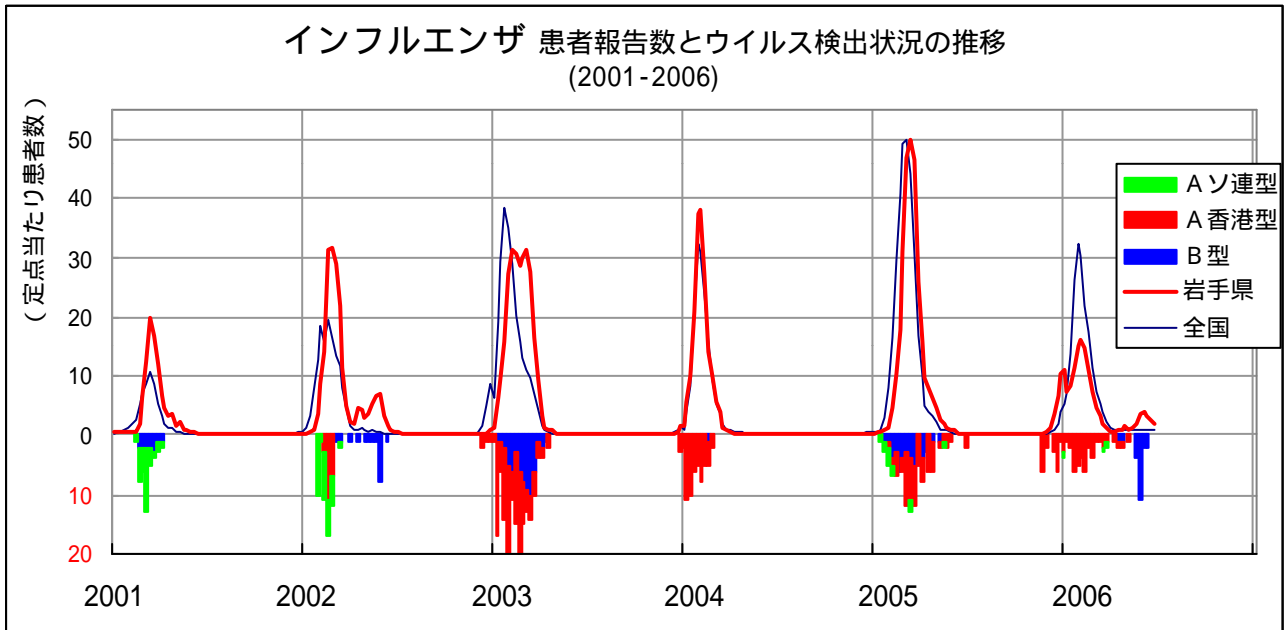
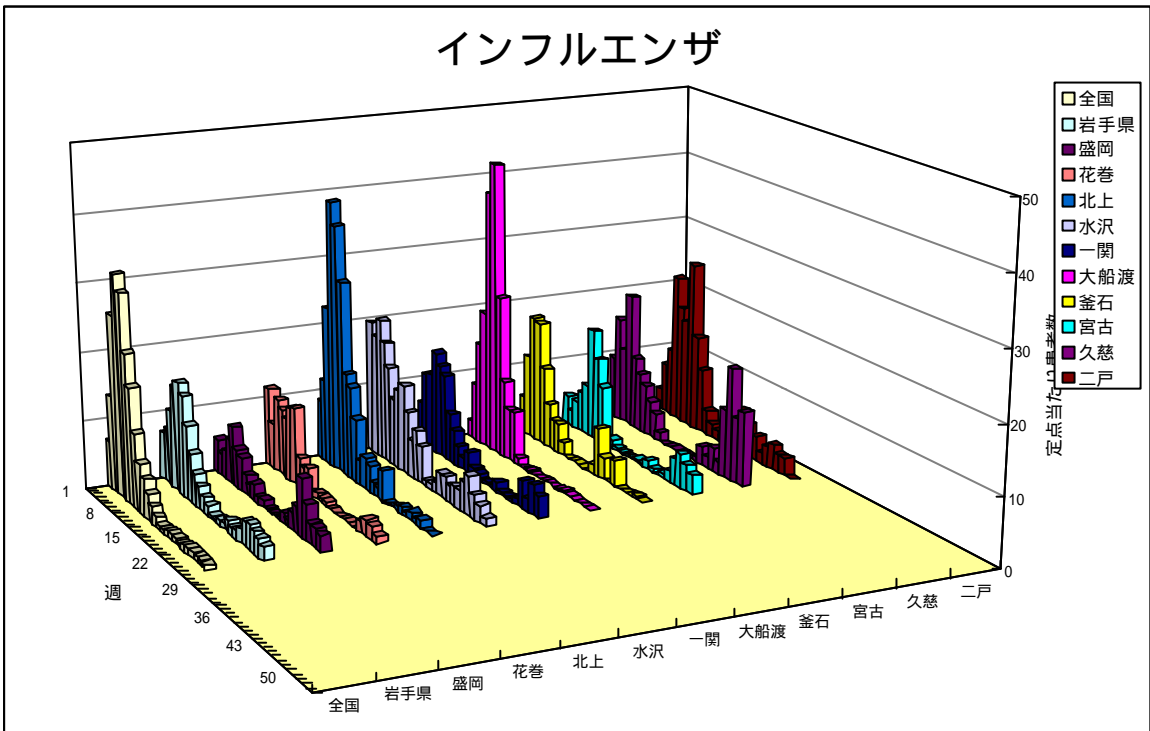
分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 21	22	23	24	25	累計	25	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	13
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	5	91
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	28
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	10
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	0	1	1	1	4	67	640
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	16
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	4	119
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	1	6
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	1	1	1	9
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	1	0	0	0	0	2	15	125
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	11
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	10
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺炎候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	18	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	1	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	7	95	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	5	178
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	1	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	2	0	0
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	0

今注目の感染症

インフルエンザ

今シーズンのインフルエンザは、例年より早く11月上旬より患者が報告され始め、2月上旬をピークに患者数は減少し、3月下旬には定点あたり1.0人以下となった。その後、新学期の始まりと共に患者報告数は再び増加したが、22週（5月29日～6月4日）の3.73人をピークに減少している。

環境保健研究センターの病原体検査では、11月にA香港型、12月にはAソ連型、4月にはB型インフルエンザウイルスが分離検出されている。4月以降県内では、小学校高学年から高校生を中心に、B型インフルエンザの患者の報告が続いている。



病原体検出情報

- ・感染性胃腸炎患者の糞便から、アデノウイルス2型を1例分離検出しました。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

黄色ブドウ球菌による食中毒事件

1 事件の察知

6月21日、一関保健所管内の病院から、「同一の事業所に勤務する2名が食中毒様症状を訴えて来院した。」との通報が一関保健所にあった。

2 調査結果

一関保健所及び県環境保健研究センターの調査の結果、患者の症状が共通していること、患者の共通食品は次の飲食店が提供した持ち帰り弁当のみで、また、複数の患者便及び弁当の残品から黄色ブドウ球菌が検出されたことから、本事件を黄色ブドウ球菌による食中毒事件と断定した。

- (1) 初発月日 6月21日（水）午前3時頃
- (2) 有症者数 4名（通院4名）
- (3) 主症状 腹痛、嘔吐、下痢
- (4) 病因物質 黄色ブドウ球菌
- (5) 原因食品 持ち帰り弁当
- (6) 原因施設 一関保健所管内の飲食店（弁当屋）

3 保健所の措置

一関保健所は、原因施設に対して6月23日から25日までの3日間、食品衛生法に基づき営業停止処分とした。

インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置等の状況（6/28まで）

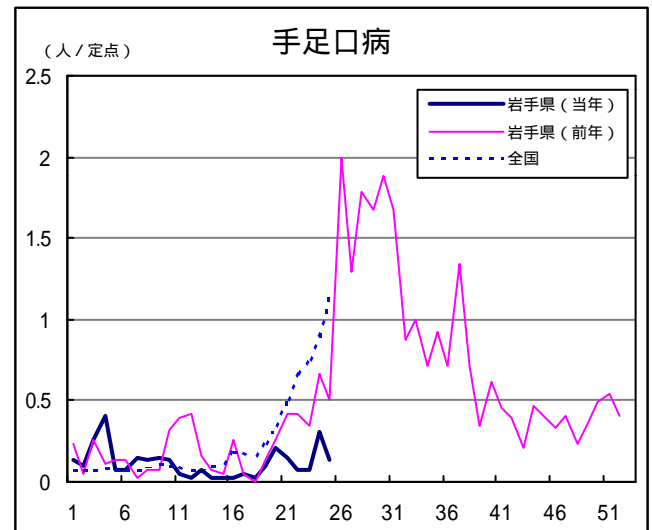
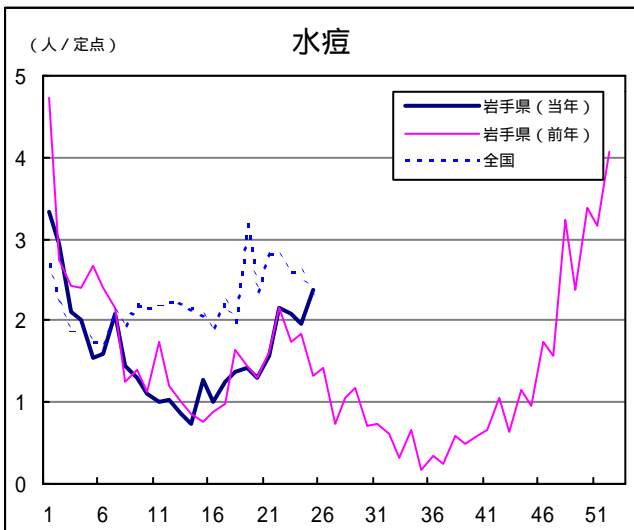
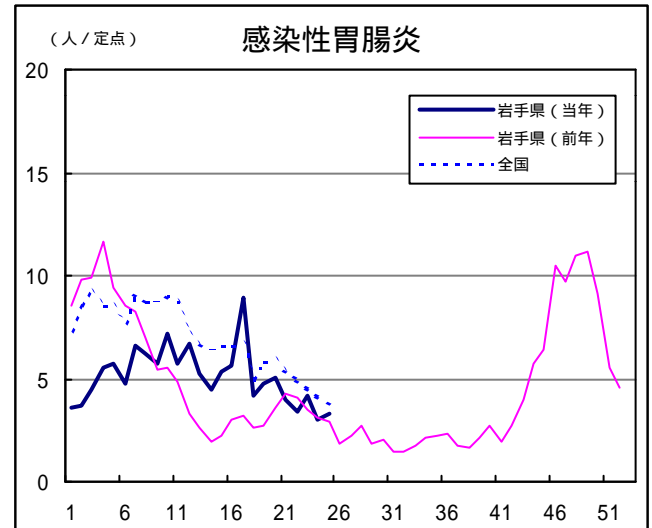
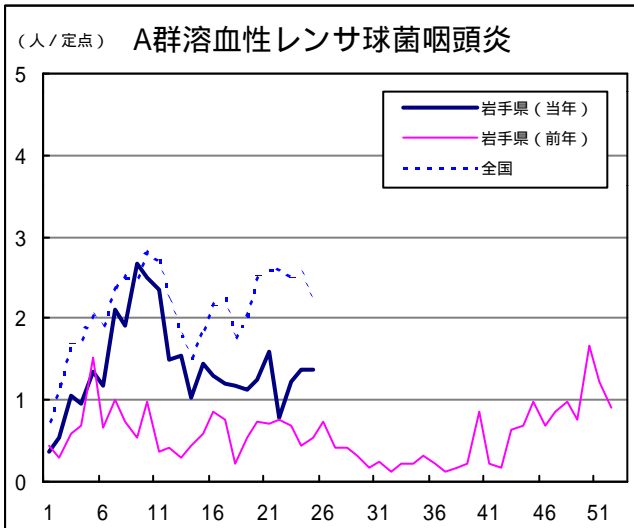
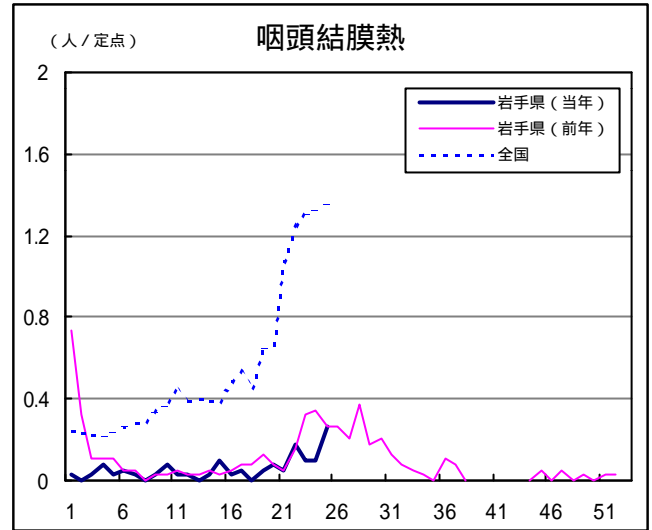
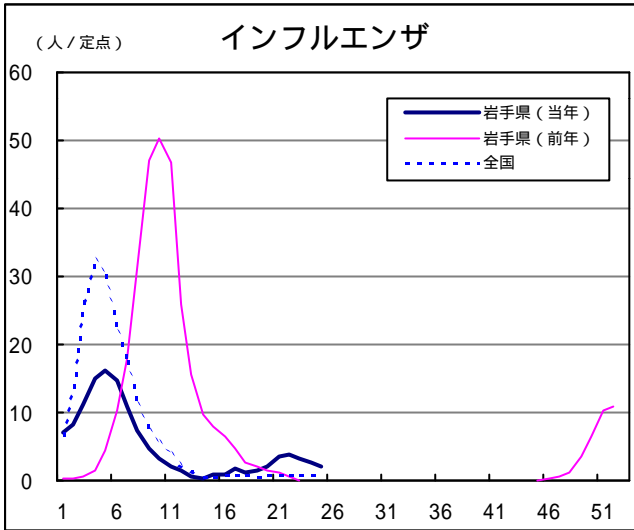
岩手県	盛岡	花巻	北上	奥州	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
94	39	3	6	8	7	12	1	6	6	6

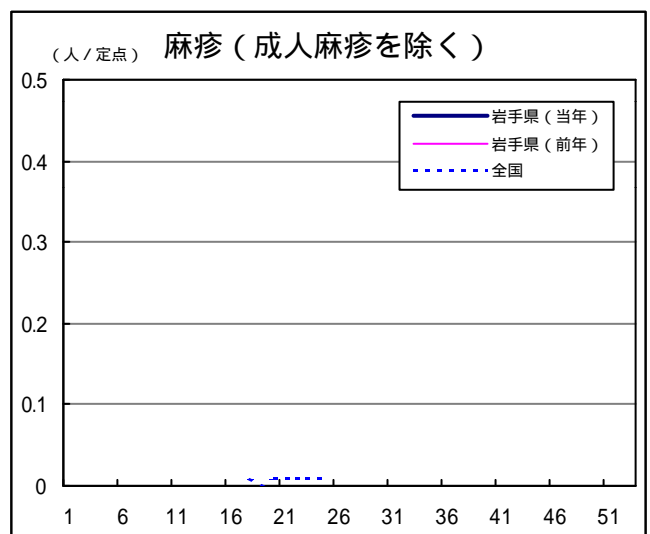
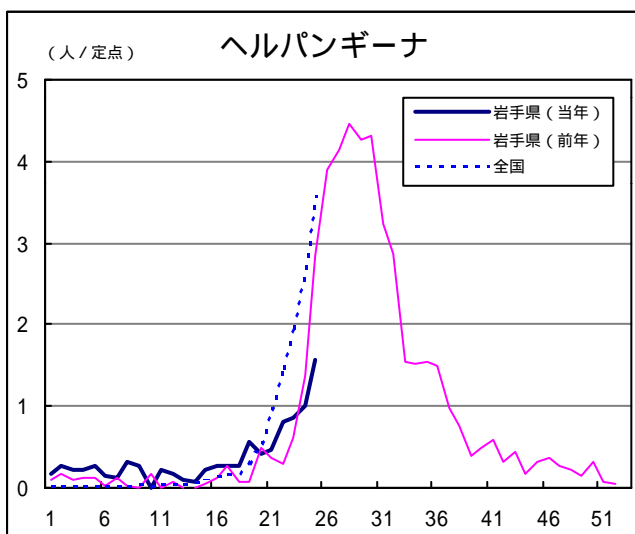
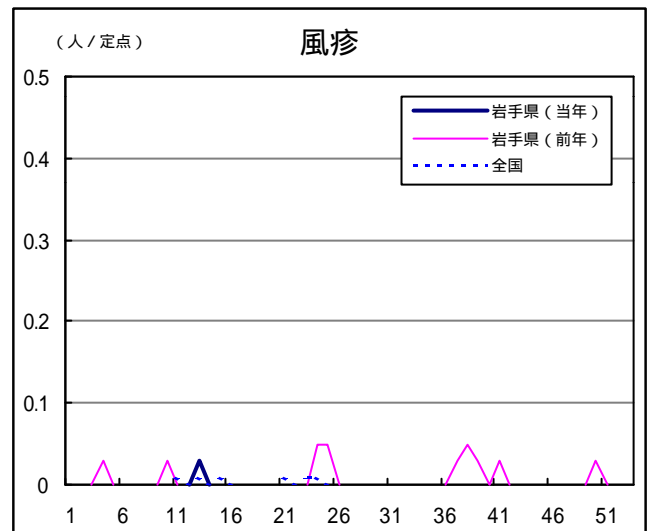
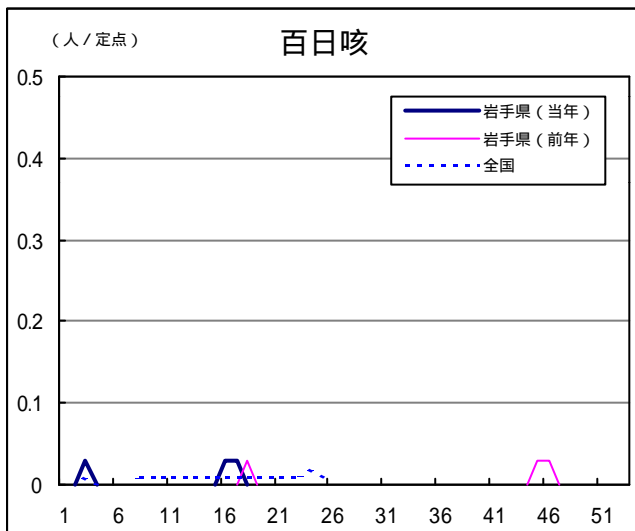
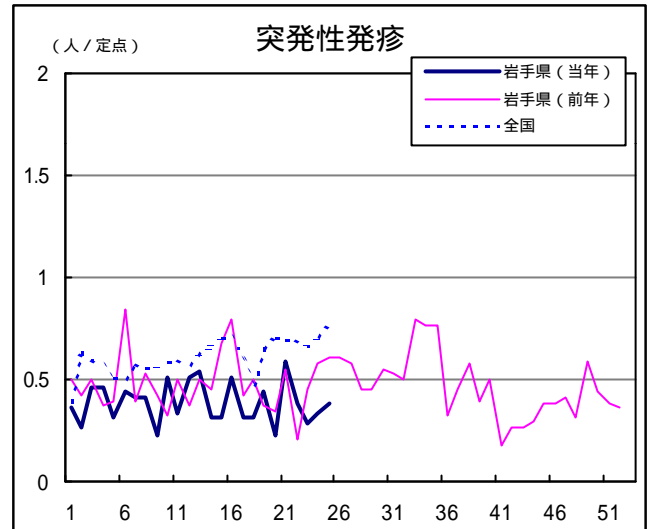
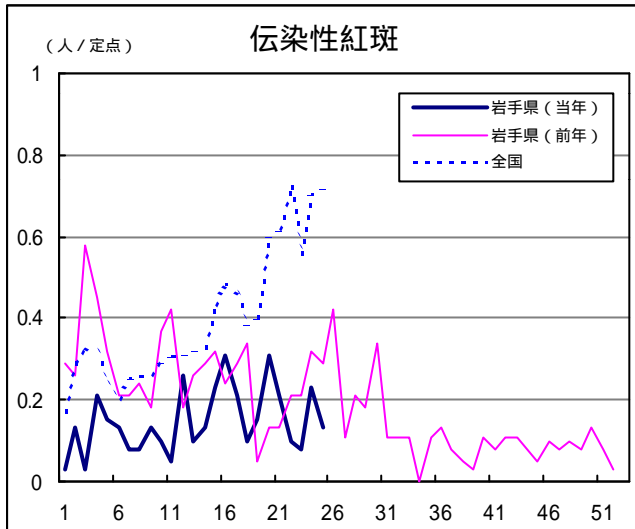
Q & A

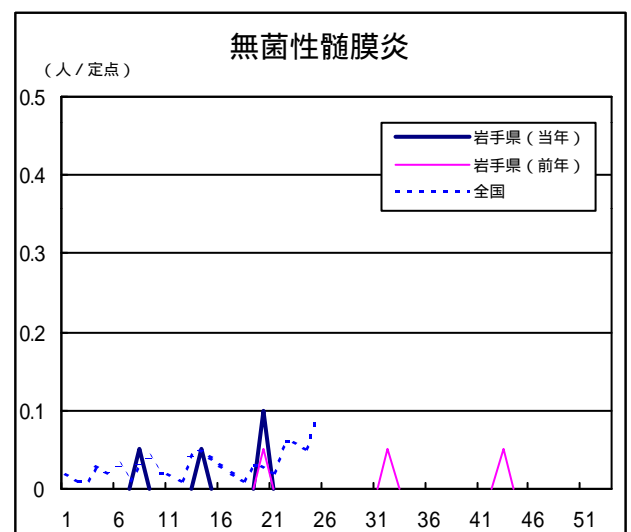
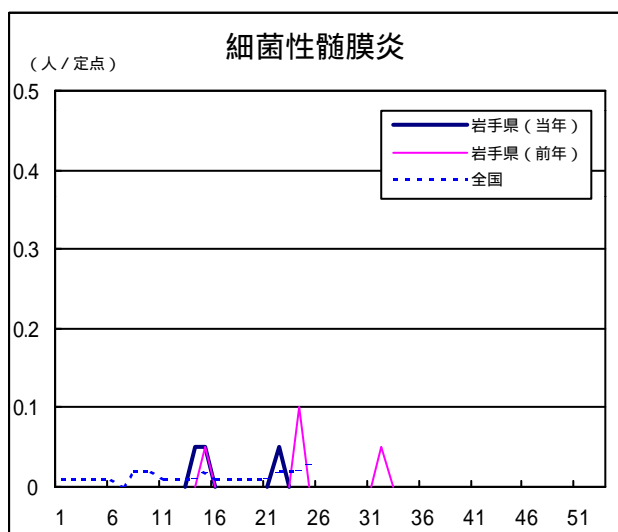
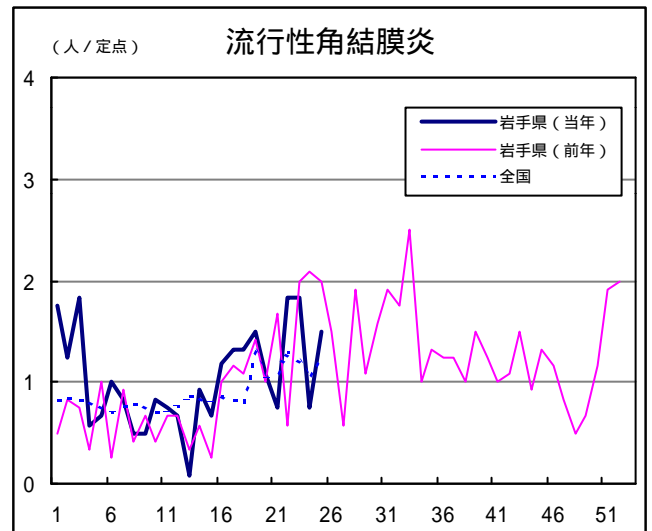
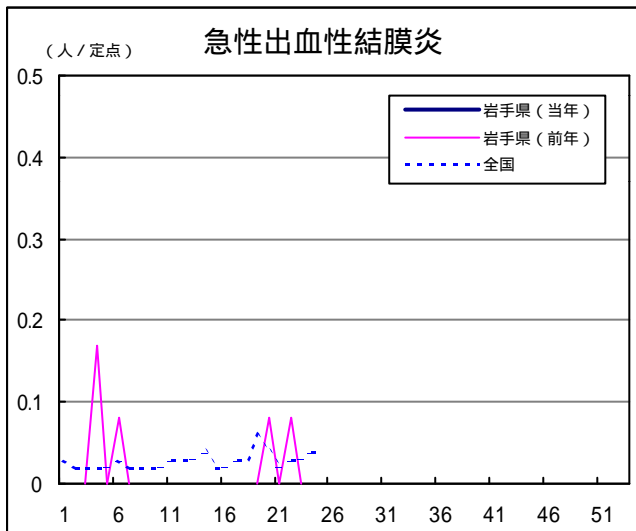
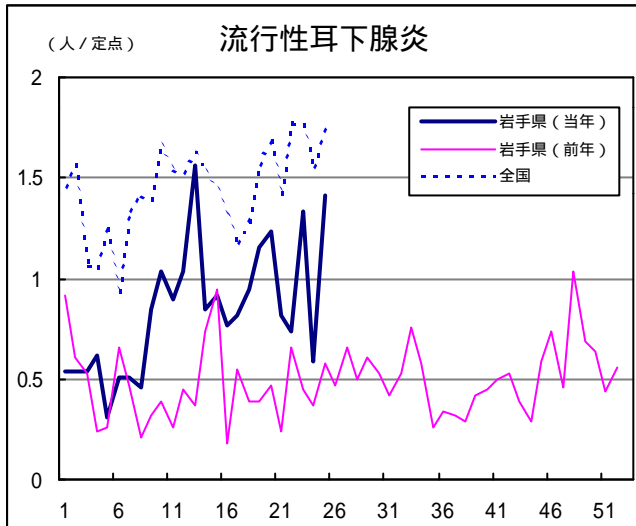
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

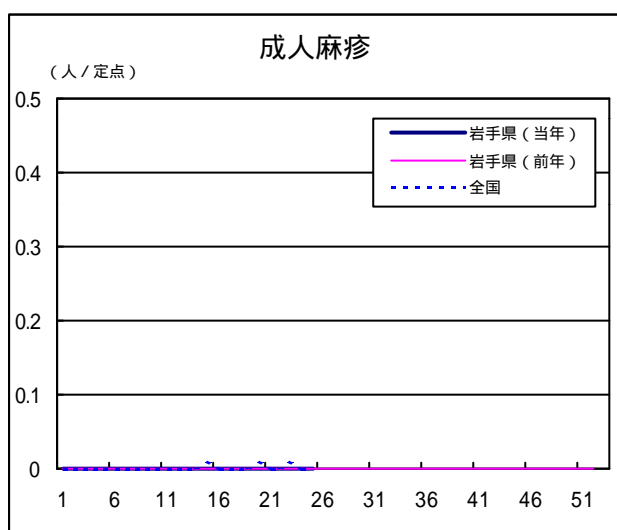
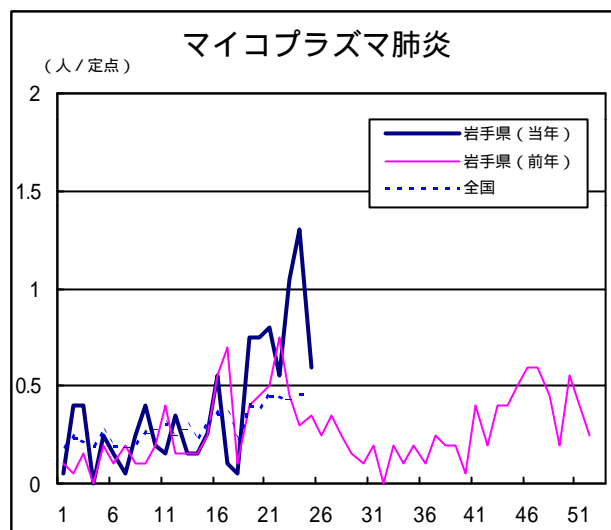
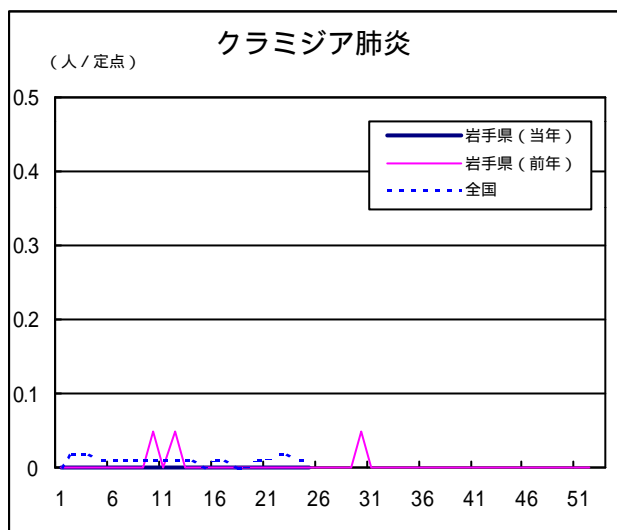
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	7	4	1	3
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第25週 平成18年6月30日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>